



東京学芸大学リポジトリ

Tokyo Gakugei University Repository

Physical Education Theory Class to Think about New Sports : Rules and Manners from a Personal and Cultural expression

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2022-04-12 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 谷口,善一, 佐藤,毅, 川原,拓也, 深澤,祐美子, 橋本,みゆき, 原,朋香 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/2309/00173825

新しいスポーツを考える体育理論の授業

—個人的文化的表現から見つめるルールとマナー—

Physical Education Theory Class to Think about New Sports

— Rules and Manners from a Personal and Cultural expression —

保健体育科 谷口 善一
佐藤 毅
川原 拓也
深澤裕美子
橋本みゆき
原 朋香

要 旨

体育理論の領域が中学校や高等学校の全員に対して必修になってから久しいが、授業実践についての課題は依然として多い。新型コロナウイルスの影響により、運動やスポーツの実施に大きな制限をかけられている今、その価値を考えることはますます重要性を増しているように思われる。本実践においては、スポーツにおけるルールやマナーに着目し、歴史的な変遷を学びながら、自分たちに合った種目を考えることを学習の中心に置くこととする。さらに、グローバルな文脈を通してルールやマナーをみつめることで、スポーツを多角的にとらえることを目指した。実践を通して、スポーツをより身近に感じることができている可能性が示された。

1章 体育理論の授業について

1節 体育理論の位置づけ

学習指導要領における体育理論の取り扱い、中学校段階では1年生から3年生まで全生徒が各学年で3時間以上が必修であり、高等学校段階においても、各年次において6時間以上が必修となっている^{1) 2)}。しかし、実践としては多くの課題が散見されるのが現状である。

運動やスポーツに関する学習は、その多くの時間が実技をともなった方法で展開されている。運動が得意な生徒ほど、座学よりも実技を好む傾向があり、座学で行われる授業は敬遠されることがしばしばある。また、単元として取り扱うべき領域であるにも関わらず、2015年段階では単元として実施されている割合は2割以下と考えられるという報告もある³⁾。

また、2019年から世界的に大流行した新型コロナウイルスの影響により、日本国内では全国的に休校になったり、各地で行われるはずだった中体連や高体連主催の大会が中止になったり、さらには学校行事としての運動会も中止や縮小が余儀なくされた。東京2020オリンピック・パラリンピックも翌年に延期されての実施となった。このように、運動やスポーツから離れざる得ない状況や、これまでと同じように活動できない状況下において、改めて運動やスポーツについてその意義を問い、自身の生活の中における運動やスポーツの位置づけを考えることの重要性が増し

ているように思われる。

運動やスポーツに対して、実施者としてのかかわり方だけではなく、実技から離れ、客観的にその価値や意味を見つめ、実生活とのつながりを考えることは、運動やスポーツの幅をひろげ、より豊かな生き方にもつながるものであると考える。

2節 本校における体育の授業について

本校では1年生～3年生、および5年生の後半～6年生までの体育の授業は男女共修で行っている。体育の授業のねらいとして知識や技能の伸長はもちろんであるが、男女差や技能差を超えて認め合い、尊重しあいながら全員がスポーツを楽しむことをねらいの一つとしている。

運動やスポーツを学ぶとき、実践によって経験することはその種目のもつ面白さに触れる大切な機会となる。運動やスポーツの楽しみ方はそれぞれで、例えば個人で黙々と取り組んだり、仲間と協力しながら競争したり、挑戦したりすることなどがある。本校では、保健体育の授業における学びを通して、生涯スポーツの実践者として、個人または仲間と共に、目の前にある運動やスポーツに楽しみを見だし、または、新しい楽しさを創り出す力を身につけさせたいと考えている。

2章 授業実践

1節 単元設定について

2-1) 生徒の既習事項と実態 対象：中学2年生

1年時の体育理論において、運動やスポーツの必要性和楽しさ、運動やスポーツへの多様な関わり方について学習している。

保健における学習とも関連させ、健康と運動やスポーツのかかわりについて考え、より豊かな生き方と、日常生活における運動やスポーツの価値や意義、その位置づけについて考えた。また、「する」だけではなく「みる」「知る」「支える」「運営する」など運動やスポーツとのかかわり方の多様性についても学んだ。体育の授業とも関連させ、より高いスキルを身につけたり、技能の向上に注目したりすることのみではなく、より広いスポーツの楽しみ方とは何かについて継続的に考えている。

本校の生徒は、運動やスポーツを得意とする生徒は多くない。得手不得手を問われれば、不得手と答える生徒の割合の方が多。しかし、運動やスポーツへの取り組みは大変前向きである。知的好奇心も高く、課題を見出す力に長けている。また、事象に関してより客観的にとらえ、物事を横断的な知識や視点で考えることがトレーニングされている。

2-2) ねらい

本校は2010年度から国際バカロレア中等教育プログラム(MYP)を実施している。MYPの学習では、文脈の中で概念の理解を進めている。その一つに「グローバルな文脈」があり、これは、文脈に基づいた有効な学習の手助けとなるものである。

本単元は、IB(MYP)におけるグローバルな文脈の一つである「個人的表現と文化的表現(Personal and cultural expression)」にそって運動やスポーツを多角的にとらえることを目指す。特に、ルールやマナーに注目し運動やスポーツを楽しむ方法とは何かを考える。

2節 単元の展開

2-1) 第1時 「スポーツの起源、スポーツにおけるルールとマナーについて考える」

	学習活動	指導上の留意点
はじめ (5分)	あいさつ、出欠確認 1. これまでの運動やスポーツ経験について振り返り、その価値を考える	○保健体育の授業や、毎日の生活の中における運動やスポーツの実践について振り返り替えさせる。 ○コロナ禍におけるかかわりの変化についても取り上げる。
なか (7分)	2. スポーツの起源について理解する ・スポーツが、生活をより豊かにするものとして存在していたことを理解する。	○社会が成熟することとの関係性を考えさせる。
(10分)	3. スポーツにおけるルールとマナーについて理解する。 ・スポーツにおけるルールの必要性について意見を出しあう。 ・グループになり、それぞれの考えを共有する。	○これまでの経験を振り返るとともに、ルールが設定されていない場面を想像させながら考えさせる。 ○スポーツにおけるルールが、その枠組みを提供するものであり、日常生活から分離された世界を表現するものであることを理解させる。
(7分)	4. スポーツにおけるルールやマナーについて考える必要性について理解する。	○公式のルールありきではなく、実施者が十分に楽しむためには、様々な状況などに合わせて、ルールを工夫することの大切さを理解させる。
(7分)	5. ルールの公平性について考える。 ・同じ条件を設定することによって生じる課題について意見を共有する。	○パラリンピックの水泳における背泳ぎのスタートを例に、ルールの公平性を考えさせる。 ※) 片手スタート、補助ありスタート、タオルを使用した脚のみでのスタート
まとめ (10分)	6. ルールやマナーを設定する際に配慮すべき事項を考える	
(4分)	7. 本時の振り返り あいさつ	

2-2) 第2時 「運動の特性について理解し、機能的特性に注目した新しいスポーツを考える」

	学習活動	指導上の留意点
はじめ (5分)	あいさつ、出欠確認 1. 前時の振り返りを行う	○スポーツにおけるルールやマナーの必要性について考えたことを振り替えさせる。 ○ルールが詳細に設定されることでスポーツの価値は変化するかどうか考えさせる。
なか (10分)	2. スポーツの特性について理解する ・構造的特性 ・効果的特性 ・機能的特性	○「構造的特性」 ～運動を構成する仕組み (形式、技術、戦術など) ○「効果的特性」 ～運動を実施することによって期待できる効果 (持久力の向上、心身のリラックス) ○「機能的特性」 ～その運動自体に含まれている魅力 (楽しさや喜び、独自の魅力)
(30分)	3. 機能的特性に注目したスポーツを考える ・運動の経験差、身体能力の差などを超えて、参加者全員が楽しめるルールを考える。	○これまで経験したことのあるスポーツや遊びを手がかりにさせる。 例) バasketボール、サッカー、ハンドボール、鬼ごっこなど ○使用できる施設は体育館および武道場で、そこにある用具のみ使用可であることを伝える。 ○安全性への配慮についても適宜指導する。
まとめ (5分)	4. まとめ ・今後の進め方について理解する	

2-3) 第3～5時 「実践を通してスポーツにおけるルールとマナーについて考える」

	学習活動	指導上の留意点
はじめ (5分)	あいさつ、出欠確認 1. ウォーミングアップを行う 2. 本時の進め方について理解する	○用具の準備は担当の班に行わせる。 ○実践中は、ルールに関する工夫のポイントを意識させる。

なか (20分)	3. 1班のスポーツを体験する 4. ルールの改善点について意見を出し合う	○安全に留意しながら活動を観察する ○ルールの説明に不十分さがある場合には、丁寧に確認させる。 ○途中でのルール変更も可能であることを確認する。
(20分)	5. 2班のスポーツを体験する 6. ルールの改善点について意見を出し合う	○実践しながら、種目の機能的特性は何か、ルールのよりよい改善はできないかについて考えさせる。
まとめ (5分)	7. まとめ	○発表班の確認を行う。

2-4) 第6時 まとめ

	学習活動	指導上の留意点
はじめ (5分)	あいさつ、出欠確認 1. 実践のプリントを記入させる	○機能的特性に着目して書かせる。
なか (20分) (20分)	2. 班ごとに実践の振り返りを行う。 ・メモ用紙を手がかりに、体験した種目について意見や感想を出しあう。 3. 各班の意見を共有し、グローバルな文脈から見つめなおす	○ルールの工夫点や、実践したことで感じた楽しさや難しさを言葉で表現させる。 ○互いの意見は、否定せず、まずは受け入れるように話し合いをすすめさせる。 ○グローバルな文脈「個人的表現と文化的表現」を通してスポーツにおけるルールやマナーを考えさせる。
まとめ (5分)	4. まとめ	○運動やスポーツへのかかわり方の多様性について理解させる。 ○一つの文化としてスポーツが存在することを理解させる。 ○ルールは、特性が崩れない範囲で工夫の余地があることを理解させる。

3章 授業実践の振り返り

1節 成果と課題

互いの考案したスポーツの実践と振り返りを繰り返すことで、運動やスポーツにおけるルールとマナーについて考え、よりよく楽しむためにはどのような工夫ができるか考える能力が育成されるのではないかと。特に機能的特性に注目しているため、その運動がもつ楽しさとは何なのかということについて、企画者と実施者で意見交換を行いながら、個人によって楽しさの感じ方が違うことにも気づかせ、ルールのブラッシュアップを試みる事ができた。

また、グローバルな文脈をとおして課題をみつめさせることで以下に紹介するような生徒の感想があった。

・スポーツは仕上がった文化のように思っていたが、個人の感覚に表現を変えることができるものであると考え、より身近に感じることができた。

体育理論の授業を通して、運動やスポーツに関する理解の幅を広げながらよりよい生き方について考え、日常生活における文化としての運動やスポーツに価値を見いださせたい。

今回の実践の課題としては、学習内容を生かして新しいスポーツを考えるための時間が十分ではなかったことが挙げられる。これまでの運動経験をもとにして、そこにあった楽しさや難しさを思い出しながらの作業となったが、班ごとに決定したものを試したり、修正したりする時間が不十分であった。そのため、プレゼンテーションの際に説明がうまくいかないことが発生した。

また、授業が他学年と重なり、実践するための体育施設が限られてしまったことも、大きな制限となった。これは、一つの課題となったが、活動場所が変更になる可能性があることは事前に伝えてあったので、場所が変わったことによって、それに応じた柔軟な対応を考えるという意味では大変貴重な機会となった。

今後は、運動やスポーツへの向き合い方や、ルール、マナーについて考える機会は、体育の授業においても積極的に取り入れ、日頃から意識させるようにすることで、さらに自らが主体となって運動やスポーツへかかわる姿勢を育てたい。

引用・参考文献

- 1) 文部科学省 (2017) 中学校学習指導要領 (平成 29 年告示)
- 2) 文部科学省 (2018) 高等学校学習指導要領 (平成 30 年告示)
- 3) 村瀬浩二 (2021) 体育理論領域の実態調査からみる課題と対策. 体育科教育 69(1):17-21

Physical Education Theory Class to Think about New Sports

– Rules and Manners from a Personal and Cultural expression –

Abstract

It has been a long time since the area of physical education theory became a compulsory subject for all junior and senior high school students, but there are still many issues regarding classroom practice. As the new coronavirus has placed great restrictions on the practice of exercise and sports, it seems that it is becoming increasingly important to consider the value of exercise and sports. In this study, we will focus on the rules and manners of sports, and while learning about the historical changes, we will place the focus on thinking about the kinds of events that are appropriate for us. In addition, by looking at the rules and manners in a global context, we aimed to take a multifaceted view of sports. Through the practice, the possibility of making sports more familiar to the students was demonstrated.